

行政視察報告

視察日時	令和4年7月19日（火）14時～16時00分
視察場所	愛知県蒲郡市
視察項目	100日間でメタボ率1位返上を目指す体重測定チャレンジについて
視察者	民生常任委員会委員7名 当局職員1名 事務局職員1名
視察概要	<p>蒲郡市では、平成23年度に国保特定検診メタボ該当者割合が24.7%で愛知県内ワースト1位となったことなどから、国保生活習慣病医療費が年々伸びており、健康問題が市の財政に影響しているとの財政部局から指摘を受けるとともに健康政策の提言を求められ、平成25年度から全庁的な「いきいき市民健康づくり事業」を実施することとなったものです。</p> <p>この「いきいき市民健康づくり事業」は、まず「市役所全体で健康づくりを考える」として、健康に関する職員向け研修会に市長をはじめ管理職ほか職員130名が参加するとともに、平成25年7月に市役所全体27課の43名からなる「健康化政策全庁的推進プロジェクト」を組織し、グループワーク、全体研修会、戦略発表会を行うことから始まりました。</p> <p>推進プロジェクト内に設置された5グループのうちの1つのメンバー自らが体重を測り数値をグラフにつけることで、体重が増減した原因が何かを自分で考え、生活を振り返り気づくことで健康につながることを確認した上で、「体重測定100日チャレンジ！めざせ1万人！」を展開しました。</p> <p>この取組は、市民や在勤者を対象とし、市内企業や団体へのトップセールスと職域連携を行って実施されました。また、体重データの入力、閲覧、運営管理、結果分析などにはICTを活用したシステム体制も構築されています。中身は単に「100日間の体重測定と記録をすること」ですが、それにより①BMI25以上、BMI18.5未満の人が減少し、適正体重の人が増加した、②健康を意識するようになった人、食事や運動に気を付ける人が増えた、などの分析結果が出ています。</p> <p>また、市内小中学生を対象とした「健康づくり（朝ごはん）100日チャレンジ！」も合わせて実施しています。</p> <p>こうした取組の参加者は、登録者数5,886人、市内小中学生6,478人で、蒲郡市民81,717人のうち15%の参加率（平成27年度）となりました。</p>
本市に生かせる視点	<p>健康長寿日本一を目指す取組は非常に範囲が広く、先導する市としてもいかに組織全体で取り組むかがカギになるのではないかと思います。</p> <p>蒲郡市では、取組の中心となる「健康化政策全庁的推進プロジェクト」を組織していますが、特筆すべきはそのメンバーを各部署から募るのではなく、担当部署が「あの人が必要だ」と、いわば「一本釣り」で指名し、各部署もそれに応えていることです。そのことにより庁内での横断的な活動と意識の共有ができていと感じられます。事業の内容とともに、こうした職員体制の組織化は、本市でも参考となるのではないのでしょうか。</p>